

「スーパーシティ」五原則（たたき台）

2018年10月29日

竹中 平蔵

1、何を指すか

世界最先端の技術を実証するだけでなく、第4次産業革命後の未来の社会、生活を包括的に先行実現するショーケース

2、基本構成要素

- ・ 未来像： 少なくとも、自動走行、キャッシュレス、行政ワンストップ。その他、医療、介護、教育、エネルギー等を含め、未来像の包括的な提示
- ・ 住民の参画： 未来像の実現に合意し参画する住民
- ・ 強い首長： 住民の合意形成を実現できる、ビジョンとリーダーシップを備えた首長
- ・ 技術を実装できる企業： 世界最先端の技術を実装できる、中核となる企業

3、エリアの選定

都市の一部区域を含め、ごく少数のエリアを、透明なプロセスで選定

4、域内の運営

- ・ 国・自治体・企業で構成するミニ独立政府が運営主体（従来の特区の区域会議のさらなる強化、住民参画の仕組みも組み込む）
- ・ 社会設計を担うアーキテクトを置き、権限を付与

5、国の役割

- ・ 域内の規制設定の権限は原則としてミニ独立政府と住民に委ねる
- ・ 必要なインフラ整備は国主導で迅速に行う